



各 位

2021年12月28日

会社名 パレモ・ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉田 馨
 (コード番号：2778 東証・名証第2部)
 問合せ先 取締役管理担当 福井正弘
 TEL (052)581-6800

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年10月4日付の「2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました2022年2月期(2021年2月21日～2022年2月20日)通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2022年2月期通期連結業績予想数値の修正(2021年2月21日～2022年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,400	50	50	△350	△29.37
今回発表予想 (B)	17,920	△750	△770	△1,450	△121.61
増減額 (B - A)	△480	△800	△820	△1,100	—
増減率 (%)	△2.6	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	18,257	△1,325	△1,321	△1,880	△157.00

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う3回目の緊急事態宣言が2021年6月20日をもって解除となり、上半期中は引き続き同程度の影響は受けつつも夏以降は緩やかに回復することを想定しておりましたが、その後も変異ウイルスのデルタ株による感染急拡大などもあり、繰り返し緊急事態宣言が発出されたことから、客数が回復しない状況が続きました。

今後の見通しにつきましては、秋以降は新規感染者も抑えられており、11月に入ってから既存店売上高も前年を上回る推移となり、第4四半期も継続して回復を見通しておりますが、下半期の既存店売上高前年比は前回予想の前提としていた102.3%には届かず、通期の売上高は前回予想から4億80百万円下回り179億20百万円なる見通しとなりました。利益面におきましては、賃料減額交渉や人員の適正配置等により経費削減を進めましたが、夏物商戦ピークである8月に大雨、低温傾向が続いた影響から夏物処分販売が嵩んだことで、売上総利益が大きく減少し、営業利益は前回予想から8億円下回り、7億50百万円の損失、経常利益は前回予想から8億20百万円下回り、7億70百万円の損失を見通しております。また、親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、営業損失の拡大に伴い減損損失の増加が見込まれることから、前回予想から11億円下回り、14億50百万円の損失となる見通しであります。

以上